

SQS が動かない場合の対処について

1. 症状

SQS のファイル (SourceEditor, MarkReader とともに) をダブルクリックすると、一瞬黒い画面が出てすぐに消えてしまい、SQS が動かないことがあります。これは、SQS を実行する際に Java というプログラミング言語を使用していますが、この Java が SQS のファイルをプログラムとして認識できない場合に発生しています。

2. 原因と対策

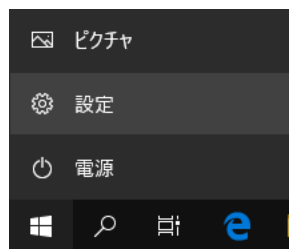
Java のファイル名には「.jar」という拡張子がついています。SQS が動かない原因はこの「.jar」を Windows が Java のファイルであると認識していないことにあります。Windows が「.jar」を認識しているかを確認するためには次のような方法があります。

プログラムと拡張子

Word で作成した文書のアイコンは Word のアイコンになり、Excel で作成した文書は Excel のアイコンになります。これは作成した文書やワークシートのファイル名の後ろに Word の場合は「.doc」または「.docx」、Excel の場合は「.xls」または「.xlsx」という「拡張子」と呼ばれる文字が追加されることで、それぞれのファイルが何のアプリケーションソフトウェアで作成されたものか、を認識しているためです。ただし、現在の Windows ではこの「拡張子」は標準のままでは見ることができませんので、普段は気にしていないかもしれません。(拡張子を見る方法は参考 1 をご覧ください)

(1) 拡張子とプログラムの関連付けを確認する

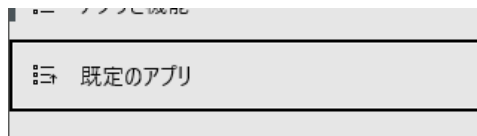
[スタートメニュー] から [設定] を選びます。



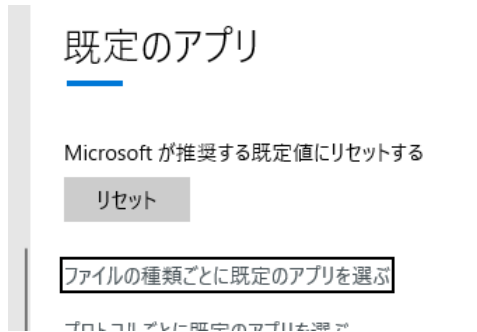
[設定] 画面から [アプリ] を選びます。



[規定のアプリ] を選びます。



画面の下の方にある「ファイルの種類ごとに規定のアプリを選ぶ」を選びます。



しばらく時間がたつと、拡張子とPC内のアプリケーションソフトウェアの関連付けが表示されます。



この中から「.jar」という拡張子を探します。(拡張子はアルファベット順に表示されています) 拡張子「.jar」が「Java(TM)Platform SE binary」となっているはずですが、ここが「規定を選ぶ」または別のアプリケーションソフトウェアが設定されていると、SQSが動きません。次の(2)または(3)の手順を進めてください。

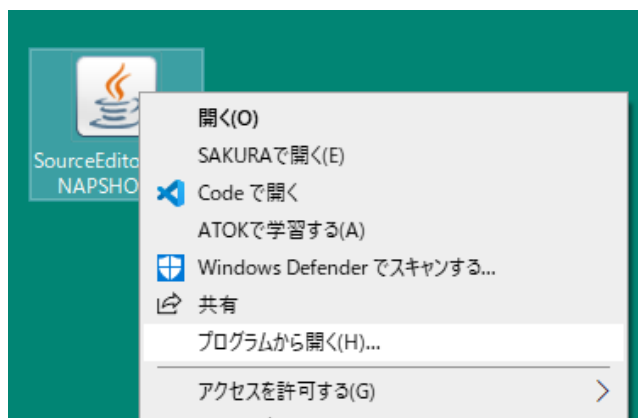


(2) 拡張子.jar を Java と関連付ける

先ほどの確認のための「設定」のウィンドウは閉じてかまいません。

SQS のファイルと Java を関連付けます。

SQS のファイル（2つのうちどちらでもかまいません）を右ボタンクリックし、出てきたメニュー（コンテキストメニューといいます）から「プログラムを開く」を選びます。



下のように表示されれば、「常にこのアプリを使って.jar ファイルを開く」にチェックをつけて [OK] をクリックします。また、Java が表示されなければ、その他のアプリから Java を選びます。

このファイルを開く方法を選んでください。

このアプリを今後も使う



その他のオプション

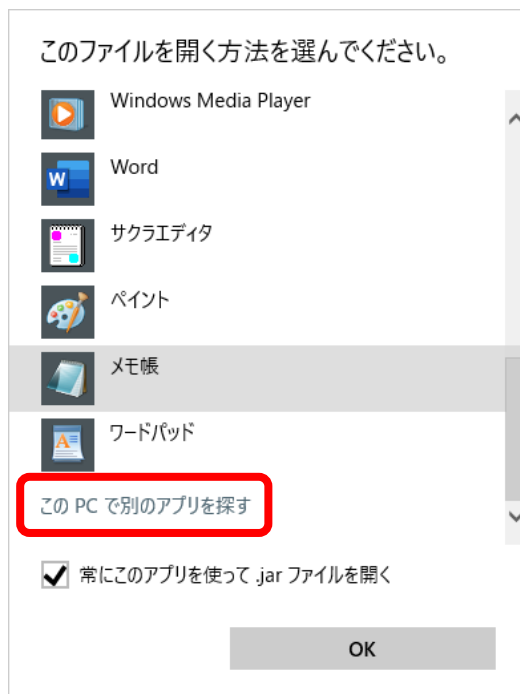


その他のアプリ ↓

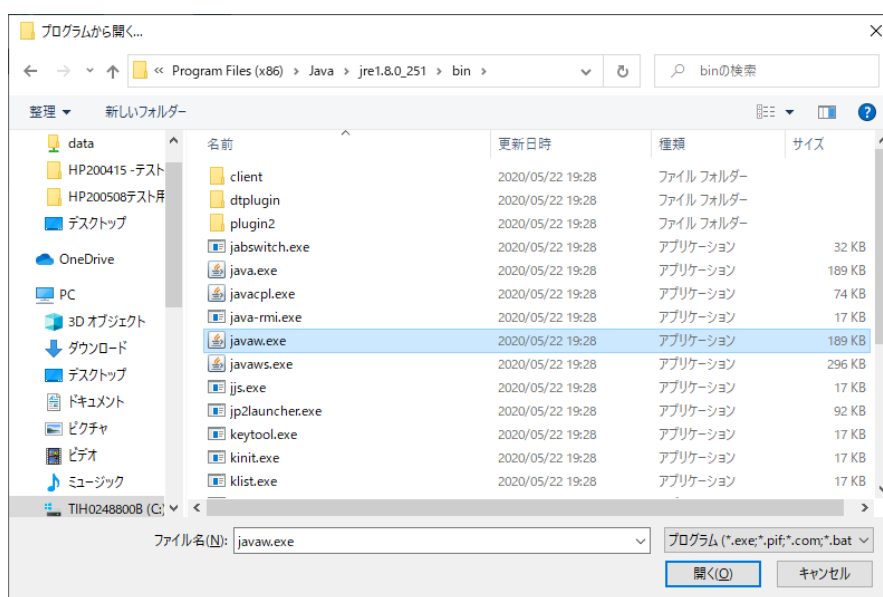
常にこのアプリを使って.jar ファイルを開く

OK

いろいろなアプリケーションソフトウェアが表示されますので、「常にこのアプリで.jar ファイルを開く」にチェックを入れ、一番下までスクロールして、「この PC で別のアプリを探す」をクリックします。



java のプログラムは C:\Program Files (x86)\Java\jre1.8.0_251\bin に入っています。
(jre1.8.0_251 の数字はバージョン名ですので、若干異なることがあります)
「javaw」(または javaw.exe) を開きます。(java や javaws ではありません。)



以上で SQS が実行できるようになります。この(2)の手順を行って、それでも実行できない場合は次の(3)の手順を進めてください。

(3) 関連付けがうまくいかない場合の対処方法

(2) にしたがって設定をしてもうまくいかない、または「.jar」に関連付けられている別のアプリケーションソフトウェアがある場合は bat ファイル (bat プログラム) を作成して、実行させる方法があります。

bat ファイル・・・操作手順を一括して実行する簡易なプログラムファイル

① 「.jar」 ファイルを強制的に実行する方法

java のファイルを実行する場合、コマンドラインから

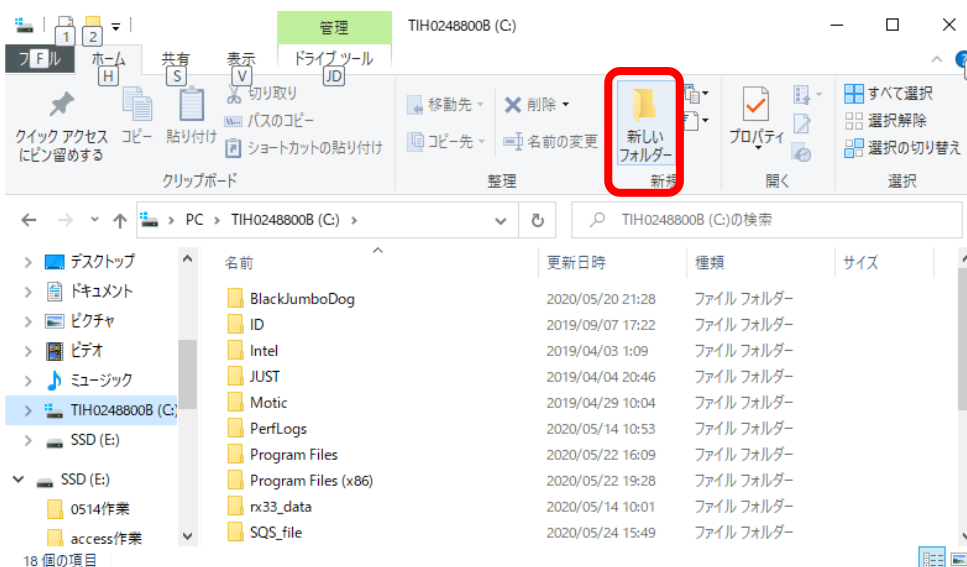
java -jar ○○○○.jar (○○○○はファイル名、絶対パスを含む)

と入力することで、拡張子の関連付けと関係なしに実行することができます。そこで、この操作を bat ファイルにします。

② SQS ファイルの置き場所を決める

はじめに SQS のファイルを保管する場所を決めておきます。ここでは「C ドライブ」に「SQS_file」というフォルダを作ってそこに SQS のファイルを保管します。

「エクスプローラー」で C ドライブを選び、「新しいフォルダー」をクリックします。



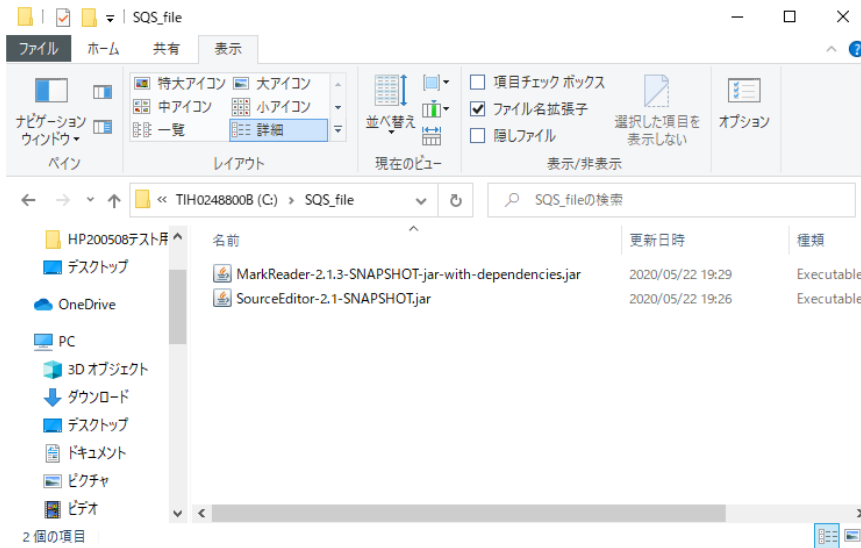
新しいフォルダ名を「SQS_file」としておきます。(ファイル名は半角文字にしておくと、後々面倒がないです)



「SQS_file」フォルダーに SQS のファイル 2 つ

- ・ SourceEditor-2.1-SNAPSHOT
- ・ MarkReader-2.1.3-SNAPSHOT-jar-with-dependencies

を入れます。



③ メモ帳を使って bat ファイルを作る。

「スタートメニュー」－「Windows アクセサリ」－「メモ帳」でメモ帳を開きます。

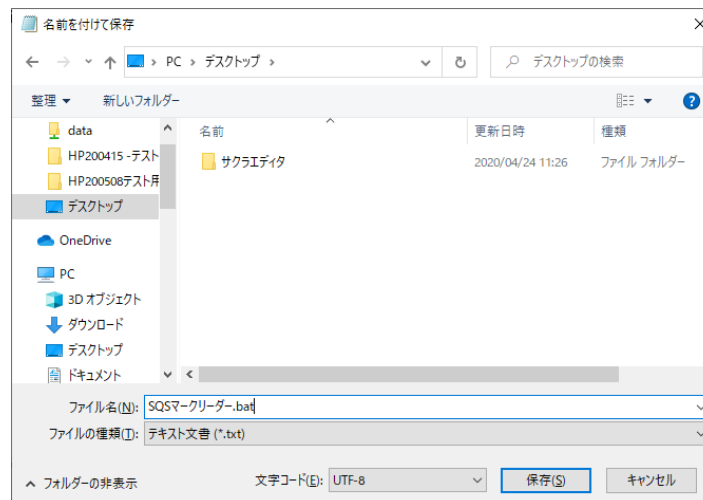


メモ帳の画面に以下の 1 行を入力します。

```
java -jar c:¥SQS_file¥SourceEditor-2.1-SNAPSHOT.jar
```

注意：java□-jar□c:¥SQS_ . . . □の部分は半角スペース

メモ帳の「ファイル」－「名前をつけて保存」を選び、ファイル名に「SQS エディター.bat」などと名前をつけて保存します。このとき、ファイル名は全角文字が入ってもかまいませんが、「.bat」の部分だけは半角文字にしてください。（これが bat ファイルの拡張子です）また、保存場所は先の SQS_file フォルダーでもデスクトップでもどこでもかまいません。



同様に再度メモ帳で

```
java -jar c:¥SQS_file¥MarkReader-2.1.3-SNAPSHOT-jar-with-dependencies
```

と入力し、「ファイル」－「名前をつけて保存」を選び、ファイル名に「SQS マークリーダー.bat」などと名前をつけて保存します。

はじめに.jarのファイルを実行するときは、java -jar ○○○○.jar「○○○○はファイル名」と説明しました。今、メモ帳で入力した文字は、

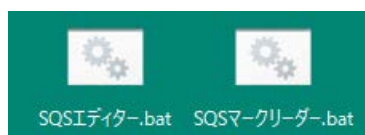
```
c:¥SQS_file¥SourceEditor-2.1-SNAPSHOT.jar
```

↓ (ファイル名)

絶対パス (ファイルの保存場所)


となっています。

保存すると、下のようなアイコンのbatファイルができます。あとはこのアイコンをダブルクリックするだけで、それぞれのファイルが実行されます。



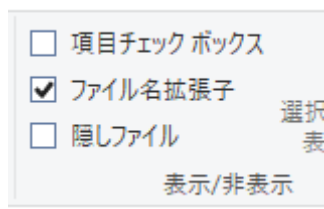
初回にダブルクリックすると、セキュリティー上の確認の画面が出ることがありますが、気にせず実行してください。

参考1：拡張子を表示する方法

タスクバーまたはメニューから「エクスプローラー」 を選びます。

メニューバーから「表示」をクリックします。

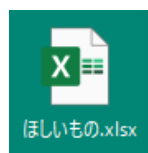
表示メニューの右側にある「ファイル名拡張子」にチェックを入れます。



下のようにファイル名の後ろに「.xlsx」という拡張子が表示されました。(下のファイルは Excel のものです)



Before



After

参考2：Java 言語と JavaScript

この2つは仕様に似た部分があるものの全くの別物です。それぞれを開発した会社同士が当時提携関係にあり、そのことが紛らわしいネーミングに関係しているようです。